



1 女王たちのチョコレート

～ヨーロッパ王室御用達紀行～

放送予定: NHK-BSプレミアム/2月10日(土)午後9:00～10:30

黒い宝石チョコレート!そこにはヨーロッパ王室との間にきらめく物語がつむがれています。番組はチョコレートのルーツを辿りながらスペイン・モナコ・ベルギー・イギリス4カ国を列車で巡ります。旅人はチョコ大好き女優の高島礼子さん。王室御用達チョコレートとその職人たちに会い、王国に秘められたスイートな物語を紐解きます。お楽しみに!



ついでに、高島礼子さんのインタビュー

「風の呂律(ろれつ)を聴くんだ!」初めての海外ロケで緊張した僕に、カメラマンの辻さんが言ってくれた言葉。それは美しいチョコレートケーキの物撮りで僕がチョコを載せた台を回す時で、結局その日、僕はチョコの呂律を聞くことができなかった。僕は今"呂律"に少しでも耳を澄ませられる人間になりたい。窓の向こうの風は、窓を叩かずとも、確かに吹いている。

アシスタント・ディレクター
田中 良典



2 日経スペシャル ギアの夜明け

変わる供養のカタチ(仮)

放送予定: テレビ東京 /2月6日(火)午後10:00～10:54



今回は、葬式や墓などの「供養業界」に焦点を当てます。葬式をあげずに遺体を火葬するだけの「直葬」や、宇宙に遺骨を散骨する「宇宙葬」など、供養のカタチは多様化を見せています。そんな中で、時代やそれぞれの家族に合った新しい供養のあり方を模索し、奮闘する僧侶やビジネスマンを追いました。

ついでに、制作スタッフのインタビュー

4年前にカンボジアのトップ企業家取材しました。彼はクメールルージュの大虐殺で両親を失い、カンボジアが復興した姿を亡き両親に見せたい一心で奮闘していました。その姿を見て、亡き人を想う供養の想いは、今を生きる人の原動力なのではと感じました。以来、供養の番組を作りたいと企画を出し4年。やっと実現しました。笑いあり涙ありの番組になったと思います。是非ご高覧下さい。

ディレクター 椎名 洋平



3 BS1スペシャル ブラックリスト

韓国史上空前絶後の言論弾圧は何を残したのか(仮)

放送予定: NHK-BS1 /2月4日(日)午後10:00～10:49

韓国では、「積弊清算」を叫ぶ文在寅(ムン・ジェイン)大統領のもと、前政権までに積もった不正とそれを生んだ社会構造を清算する動きが進む。中でも注目されるのが、朴槿恵政権下で作られた「ブラックリスト」の解明だ。政府に批判的とされた映画監督、小説家、芸能人、劇団など、1万もがリストアップされた。リストに載った当事者や解明を進める調査委員会を取材、いまだに冷戦時代の構造がのこる分断国家、韓国の厳しい現実に向かい。





4 テレメンタリー

～東京クルド TOKYO KURDS～

放送予定: テレビ朝日 / 2月18日(日) 午前4:30～5:00

東京周辺にはトルコ系クルド人のコミュニティが広がる。彼らはトルコでの差別や迫害から逃れてきた。その数、約1500人。6歳で来日したオザン(18歳)もその1人だ。難民認定を受けられず、「不法滞在者」として家族6人で暮らす。法律で働く事は禁じられ、10年以上、不法労働に頼る生活。居場所のなさに葛藤しながら、夢に踏み出すクルド人青年を追う。



Special 第9回 座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル

今月はドキュメンタリージャパンが毎年『座・高円寺』で開催している映画祭をご紹介します。



ハリウッドを駆けだ怪優 異端の人上山草人



見世物小屋 旅の芸人、人間ポンプ一座

豪華なゲストが揃いました!
奥田瑛二さん、ダンサーの首藤康之さん、劇作家の串田和美さんら、様々な表現者達が連日登壇します。ゲストセレクトクション部門には芥川賞作家・平野啓一郎さんも初参加。平野さん推薦の上映作品はファッションものです。勿論、井浦新さん、是枝裕和さん、森達也さんら常連の皆さんのトークもお楽しみに!

「表現者たち」です。

今年の特集上映のテーマは「表現者たち」です。社会に向けて何かを発している「表現者たち」を記録した作品を上映します。ドキュメンタリーは、社会的な問題に目を向けたものが多く、テーマ性で評価される傾向がありますが、一方で魅力的な表現者との出会いによって産み出されたドキュメンタリーがあります。作り手は、表現者としてどう対峙し、ドキュメンタリー表現を獲得してきたのかを見つめてみたいと思います。
(実行委員 加瀬澤充)



「マーク・ジェイコブス&ルイ・ヴィトン」～モード界の革命児～



撮影: 瀧本幹也

●開催期間: 2018年2月8日(木)～12日(月・祝)

●会場: 座・高円寺2

(JR中央線「高円寺」駅 北口を出て徒歩5分)

HP: <http://zkdf.net>

(スケジュールなど詳しい情報は映画祭ホームページをご覧ください。)

© ARTE France - ANDA MEDIA en association avec Emason production. Design recto : Geneviève Gauckler Photo jaquette verso. Tous droits réservés.



第18回 アシスタント ディレクター 杉本 誠

ドキュメンタリーは「今」である。

写真は18歳の頃の私。もっともっと立派になっている、未来の自分を思い描いていたはずなのに…。「今の自分には今しかない」と、最近、腹のくくりかたを覚えてしまいました。過去も未来もいったん置いて、物事の「今」を切りとるドキュメンタリーはとても禁欲的で面白い。もっと物事の「今」に触れたくて、この世界に飛び込んだんだと思います。

【連載】リレーコラム『ドキュメンタリーは〇〇である』

～ドキュメンタリージャパンのスタッフが紡ぐ『ドキュメンタリー』と『ワタシ』の関係～

バトンを渡す相手

⇒ディレクター 山本真裕さん

「鯨」ではお世話になりました! いつもクールな山本さんのアタマの中が見てみたい!

※都合により執筆者が変更になりました。

制作中の番組



その他、多岐に渡る作品を制作中です! 詳細はドキュメンタリージャパンのHPまで。

編集後記

インフルエンザが猛威を振るっている。私は年末かかり、救急「研修医」の診察を受ける。タミフル等インフル特効薬は、私の様に所定時間経過し発症がわかった場合、効果が無いとされているらしい。その医者は「薬の箱に(そう)書いてあるから」処方してくれず、私は総合感冒薬で七転八倒した。が、休み明け相談した主治医に自分なら特効薬を処方したと聞かされた。ああ、若イケメン医者について従順だった私,,,疑う心忘るべからず! お陰様で、マガジンは間も無く2周年。

「継続は力なり」を信じ、しなやかに続けたい。

(A.M)

Design by HARIMA koutarou

株式会社ドキュメンタリージャパン

HP: <http://www.documentaryjapan.com>

〒107-0052 東京都港区赤坂8丁目12番20号 和晃ビル1F TEL:03-5570-3551 FAX:03-5570-3550